



## 未来を夢見て Season 2

2022/2/15 No. 124

### 桃子先生、小室先生お疲れ様でした！初任研最後の研究授業

2月14日（月）。学校回りの横断歩道の色が変わっています。

早速槻田さん（大和町町会議員 副議長）にお聞きしたところ、学校の回りで、信号のない横断歩道に、大和町の予算で色を付けてくださったことが分かりました。ちなみの写真の色が一番目立つ色で交通安全には効果的なのだそうです。



さて、先週から今週にかけて、阿部桃子先生と小室雄士先生の初任研の研究授業が行われました。二人とも大学新卒で、昨年の4月教員になり、この1年必死に研修に取り組みながらも子供たちの指導にも手を抜かず取り組んできました。あるときはよきライバルであり、またあるときはよき同僚として切磋琢磨を重ねてきた結果、二人の著しい成長は、二人の担任する子供たちの姿から感じることが出来ます。

昨日の研究全体会での発言でも感じたのですが、お二人とも謙虚で吸収力が見事なので、本校で取り組んでいる国語の授業づくりでも、先輩の先生方に学びながら主体的に取り組んできたことがよくわかりました。来年の一層の活躍が楽しみです。



そういう意味では、二人にはよきお手本が身近にいました。一人は1年間、雨の日も風の日も子供たちと校庭を駆け回る赤坂勇樹先生、そしてもう一人は今年初めて6年生を担当した佐藤美香子先生です。昨年度初任研を終えた二人ではありますが、2年目になって、決して「楽」ではないことを感じた日々であったと同時に、1年目以上に教職のやりがいを感じた1年であったことと思います。

そして、忘れていけないのは拠点校指導員の豊嶋先生の存在です。

豊嶋先生はいつも初任者の立場に立って、今初任者に何が必要なのかを見極めながら指導にあたってくださいました。私がいつも（すごいなあ）と感心するのは、（失礼ですが）おいくつになられても大変な勉強家で、常に新しいものを求めて本を読み、情報を得ようとするその姿勢です。4名の先生方のそれぞれの活躍をうれしく思いつつも、今の姿勢を忘れず今後も活躍されることを期待します。

（文責：手代木）